

セミナーのお知らせ

第10回「異分野キャリアを持つ医療系生命科学研究者育成支援」事業セミナー

日時 2016年2月2日（火） 18:00-19:30

場所 大学院セミナー室（基礎研究棟 1F）

演者 木全 諭宇博士（Yuu Kimata, PhD）



Group Leader, Cancer Research UK Career Development Fellow, Department of Genetics, University of Cambridge, UK

演題 APC/C on Centrosome: Linking Cell Cycle to Development

要旨 演者の研究室の中心テーマである **Anaphase Promoting Complex (APC/C)** は、ユビキチンリガーゼ活性を有する、進化的に保存された巨大なタンパク質複合体です。APC/C は、ユビキチン依存的タンパク質分解経路を通じて、細胞分裂、細胞分化や神経活動など、多種多様な生体内プロセスをコントロールしています。講演の前半では、この APC/C と、細胞分裂や 極性、細胞間伝達等に関わる **中心体 (centrosome)** という細胞内小器官との、機能的かつ物理的相互作用について解説します。中心体は、ガンをはじめとする多くの病態と関連性がみられ、また幹細胞の恒常性にも関与することがわかっています。そこで講演の後半では、演者の研究室において、ショウジョウバエを用いた解析から得られた最新の結果をもとに、APC/C が中心体を通じ、**神経幹細胞の制御**に関わるという可能性についても議論します。

演者は、日本で博士課程終了後、ポスドクとしてイギリスに留学し、現在ケンブリッジ大学遺伝学部においてグループリーダーとして研究室を主宰しています。本セミナーでは、演者の研究室で得られた最新の知見のお話だけでなく、演者自身のイギリスでの研究留学体験談についても紹介させていただきます。MRI で留学予定の医学部生や、海外での研究に興味のある大学院生・医員・教職員の皆様は奮ってご参加下さい。

連絡先 竹田哲也（生化学分野、内線7125、ttakeda@okayama-u.ac.jp）

* 本講演会は、博士課程授業科目「研究方法論(基礎・応用)」の授業に出席したとみなされる講演会に該当します。出席記録簿を持参して、開催担当教授の押印を受けてください。

* 本講演会は、大学機能強化戦略経費「異分野キャリアを持つ医療系生命科学研究者育成支援」からの支援により開催されます。